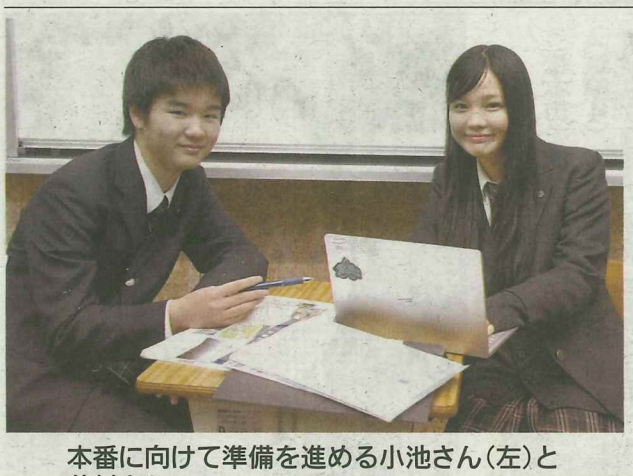
高校模擬国連 本大会へ

松本秀峰5年 小池さん・花村さん



本番に向けて準備を進める小池さん(左)と花村さん

松本市の松本秀峰中等教育学校5年生の小池智之さん(17)と花村百杏奈さん(16)のチームは、14日と15日に国連大学本部ビル(東京都)で開かれる第20回全日本高校模擬国連大会の本大会に出場する。オンラインの予選会を通過した全国各地の高校生164人82チームが各国大使になりきり、国際会議さながらのスピーチや交渉を英語で行う。2人は本選を直前に控え士気を高めている。

大会では、事前に実在の国が割り振られ、自国と他国がそれぞれ利益を追求する中で合意形成を目指す。9月に行われた予選会では「児童労働」を議題に意見を交わした。2人は出場する同世代の専門知識や英会話能力に「レベルの高さを感じた」と話す。一方、担当国の人口や社会課題、財政状況、議題への深い理解が評価され、予選会突破を決めた。

本大会では「AI(人工知能)時代における持続可能な開発」が議題。放課後などに外務省のデータベースや担当国の現地ニュースを使って入念な準備を進めている。花村さんは「圧倒的な英語力」、小池さんは「英語力とコミュニケーション能力がすごい」と互いに信頼し合う。

2人は将来、国際関係の仕事に就くことを目指している。本番に向け、〝一国の代表〟として花村さんは「英語でも自分の気持ちを100%伝えたい」と語り、小池さんは「リーダーシップを発揮したい」と力を込める。

(牧野 蒼)